

磐越自動車道4車線化及び今回完成区間の概要

1. 4車線化工事概要

磐越自動車道は、常磐自動車道いわきJCT(福島県いわき市)から分岐し、郡山JCT(福島県郡山市)で東北自動車道、新潟中央JCT(新潟県新潟市)で北陸自動車道と接続する延長約213kmの高速自動車国道です。

平成9年10月の西会津IC～津川IC間の開通により全線開通し、常磐自動車道、東北自動車道及び北陸自動車道と広域ネットワークを形成して、東北地方南部の沿線地域の経済・産業・文化等の発展に貢献する重要な役割を果たす路線です。

このうち、いわきJCT～郡山JCT間の71.4kmについては、平成11年1月より4車線化工事に着手し、これまでに69%(49.0km)の4車線化が完成しています。

今回の阿武隈高原SA～船引三春IC間の4車線化完成により、いわきJCT～郡山JCT間の77%(55.3km)が4車線になります。

いわきJCT～郡山JCT間の残る全ての区間についても、平成21年度までに4車線化となるよう工事を進めています。



2. 完成区間の工事概要

(1) 工事区間

福島県田村市船引町堀越から

福島県田村市船引町春山まで

(2) 区間概要

①延長 6.3km うち 土工延長 5.8km
橋梁延長 0.5km

②車線数 2車線を4車線に拡幅

③設計速度 80km/h

(3) 事業費 約38億円

3. 完成の効果

いわきJCT～郡山JCT間が全て4車線化されると、混雑期の渋滞の解消、対向車線飛び出し事故の解消とともに、規制速度の向上(毎時 70km から毎時 80km)による走行時間の短縮を図ることが期待されます。

(1) 円滑で快適な走行性が可能に

阿武隈高原SA～船引三春IC間の年平均交通量は約10,000台/日ですが、混雑期(夏休み、行楽シーズン等)には28,000台/日を超える交通量となる日もあり、交通集中による渋滞が発生しています。今回の完成により、いわきJCT～郡山JCT(71.4km)の約8割(55.3km)が4車線となり、全て完成すれば交通集中による渋滞は大幅に減少し、観光地などへのアクセスが向上し、円滑で快適な走行が可能になると期待されます。

(2) 中央分離帯により安全性が向上

4車線化により中央分離帯にガードレールを設置しました。これにより対向車線飛び出し防止が図られ、より安全性が向上し、事故などによる上下線通行止めが減少すると期待されます。

4. 工事の特色

(1) ガードレールの再利用

今回完成する区間のガードレールは、工事で撤去したガードレールを再メッキして再利用することで、建設コストの低減に寄与するとともに、建設副産物のリサイクルをしています。



既存ガードレール取り外し



ガードレールサビ取り



再メッキ処理



再利用ガードレール完成



再利用ガードレール設置状況

5. いわき～郡山間の事業の状況

赤の区間 阿武隈高原SA～船引三春IC間(6.3km)の
4車線化工事が完成します。



緑の区間 いわきJCTから郡山JCTまでの
4車線化工事を進めています。



船引三春IC～郡山東IC
土工工事



差塩PA～小野IC
橋梁工事



いわきJCT～いわき三和IC
橋梁工事

工事に伴いご迷惑をおかけしております。みなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。